

平成 29 年 7 月九州北部豪雨におけるため池の被害（その 1）

写真提供：九州農政局農村振興部・農研機構農村工学研究部門



1. 鎌塚ため池に大量の土砂流入（福岡県朝倉市）



2. 洪水吐左岸側下流の地山が崩壊



3. 堤体天端と貯水池（越流はしていない。堤体天端から 1.0 m 下がりまで貯水位が上昇）



4. 崩落した洪水吐水路（洪水吐右岸側から撮影）



5. 鎌塚ため池の洪水吐と貯水敷（堤体が決壊しなかったことで貯水池内に土砂と流木が多くとどまっており、下流での流木被害を軽減したと考えられる）

平成 29 年 7 月九州北部豪雨におけるため池の被害（その 2）

写真提供：九州農政局農村振興部・農研機構農村工学研究部門



6. 山の神2ため池の背後地山の2カ所が大きく崩壊し、土砂がため池に流入（福岡県朝倉市）



7. 山の神ため池の貯水池（左岸地山より貯水池を望む。流入した土石流はほとんど堆積していない）



8. 山の神ため池の決壊した堤体部（右岸アバットから堤体決壊部を望む）